

## 五反田電子商事

## 新システム「ミライタッチ」開発

リアル店舗に  
ネット販売機能

ネット通販コンサルティングの五反田電子商事(旧オイシックスECCソリューションズ)は、実店舗とネット通販の連携を深める新システム「ミライタッチ」を開発した。タッチパネル機能を持つデジタルサイネージ(電子看板)をECサイトと連動させ、在庫確認やコーディネート提案、多言語サービスなどさまざまな使い方ができるもので、実店舗の売り上げ拡大をサポート。アパレルや小売店とパートナーを結び順次展開する計画だ。

## デジタル試着など可能性広がる

「ミライタッチ」は、店舗にネット通販機能を持たせる(吉田卓司社長)システム。取扱商品をモニターで一覧表示し、顧客が気に入った商品を画面上でタッチすると、その商品の詳細やコーディネート例、在庫の有無、扱い店舗などの情報が表示される。ECサイトと連動しているため、店頭に目当ての商品が無い場合はネット経由で購入することが可能で、販売機会のロスを防ぐ。パネル上には、アイテムやカラーなどの選択肢もあり、例えば、「紫」の「スカート」が欲しい場合、その項目にタッチするとその店舗で扱う該当商品がすべて表示される。そのため大型店では、顧客が素早く欲しい商品を見つけ出すことができる。一方、小型店では、スペースの問題で扱えない商品も「ミライタッチ」を通して扱えることになるため、カラーバリエーションがそろえられない場合でも、全色の対応が可能といった具合。また、海外の顧客に向

けて英語、中国語に対応。店舗スタッフの接客をサポートする役割も持つ。そのほか、幅広い使い方を検討中で、ミライタッチにカメラを備え、顧客が顔写真を撮って数パターンのコーディネート例と合わせる「デジタル試着」なども想定している。商品のデータは既存のホームページやECサイトの素材が使えるため、コストが最小限に抑えられるところも特徴だ。吉田社長は、「今後、実店舗は何らかの形でデジタル化する部分が出てくるはず。タッチパネルが浸透している今、新しい店舗の形態として提案したい」と強調する。

「ミライタッチ」は商品の詳細、コーディネート例、在庫の有無などの情報を表示。また、ネット経由での購入も可能だ

